

気管挿管実習を終えて、一番に思うことは、実習に協力してくださった患者さんへの感謝の気持ちです。私たち救急救命士が気管挿管実習を行うためには、前日に患者さんの同意が必要で、同意をいただけないと実習はできないのですが、手術に対して不安に感じているだろう中、快く協力してくださり、「私でお役に立つのなら」と多くの方におっしゃっていただきました。これからは私が、救急出場の中で少しでも多くの人役に立つよう勤めていきたいと思います。最後になりましたが、徳島大学麻酔科の先生方をはじめ看護師の方々、実習期間中は貴重な時間を割いてご指導いただき本当にありがとうございました。この思いを忘れることなく、実習で教えていただいた技術と知識を、必要な時いつでも使えるよう、これからも日々努力していきたいです。



徳島中央広域連合 西消防署
長松 誠